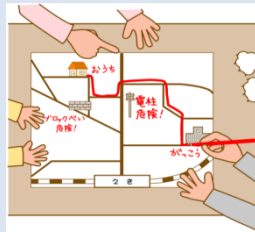


# 図上訓練(D I G)研修会

## 『DIG』って何??

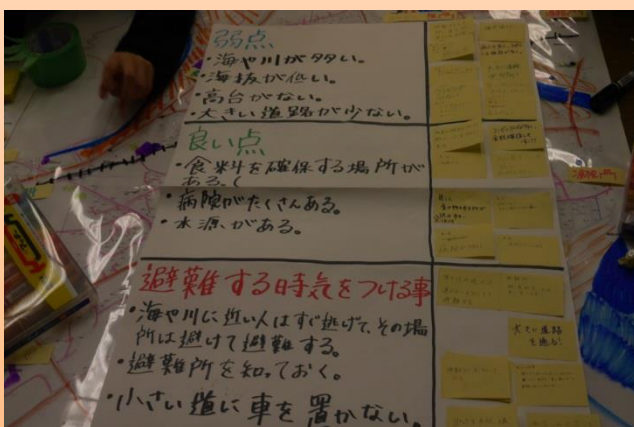
『DIG』とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、Disaster Imagination Gameの頭文字をとって『DIG (ディグ)』と名付けられました。

英語の動詞 digには「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。『DIG』という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。



図上訓練 (DIG) は、地図を広げて自分たちの住む地域に起るかもしれない災害をより具体的にとらえ、自分たちでできる備えは何があるのか考えるというものです。自分の地域で実施する前に DIGに必要な道具やポイントなどが学べます。実施最少人員は原則として15人以上、1ヶ月前までにお申し込みください。詳細については、県防災研修センターにお問い合わせください。

鹿児島県防災研修センター  
担当:石井  
電話 0995-64-5251  
FAX 0995-66-5909



## 体験後の感想



- ★DIG はとても重要なことであり、今回実施したことでどのような場所が危ないのか理解することができた。また避難時の動きを学ぶことができた。
- ★図上訓練を行うことで、実際に地域の土地はどうであるかを考え、危険を予測する大切さを学んだ
- ★参加してみて、今自分達がいる土地や周りの建物の特徴から避難できる所など避難時に気を付けることなどがわかりよかったです。
- ★安全である今だからこそ危機感をもって出来ることを取り組む必要性を感じた。防災グッズなど必要時にすぐ準備できるようにしたい。
- ★この研修を終えて自分の事として、しっかりと考えることができたと思う。また、震災の事を写真やお話で聞くことによって、これから家族などに話したいと感じた。
- ★災害に備えて避難所、避難経路、高台を把握する大切さを感じた。自分の住んでいる所だけでなく自分が通っている場所、よく行く場所にも注意を払っていきたい